

いまよみがえる

伝説の節談説教

五十回忌 記念発売



満堂の聴聞者・本堂を揺るがすお念仏の声
高座の前に座りきれない
門信徒が、師の後ろに回り、
立ったまま聞き入っている。
人の重さで床が抜け、
「御堂壊しの御坊様」と
呼ばれたとな…
範浄先生のお説教を
聞いていたから、
死ぬのなんか怖くない。

平成23年4月3日発売
CD6枚組 全収録時間・約6時間
解説：直林不退
構成：府越義博
価格：15,000円+税
ISBN：978-4-336-05371-8

国書刊行会 〒174-0050 東京都板橋区志村1-13-10 TEL03(5970)7421 FAX03(5970)7427 <http://www.kokusho.co.jp>

幻の音源発見!!

いまれんによ
今蓮如と呼ばれた節談説教者

範浄文雄説教集

法悦とは心の共振現象

範浄文雄師の鍛え上げた声と情念を揺る揺るの節によって法が語られるとき、思わず聴衆の心は共振し始める。



父・範浄文雄のこと

「今蓮如様」と呼ばれた父の説教には、立鐘の余地もないほどの参詣者が集まり、その重みで本堂の床が踏み抜かれたことがよくあったため、「御堂壊しの御坊様」の名を頂戴したこともありました。当時は交通の便も悪く、一度布教に出るとそのお寺から次のお寺へと移っていかねばならず、自坊に帰ってくるのは盆と正月そして報恩講くらい。だから父が帰ってくる日は、うれしくてたまらなかつたものです。でもその父は自坊に居るわずかな時間にも、近くの海岸で声を張り上げ、喉から血の出るくらい節の稽古をしていたのです。

そんな父が亡くなってはや四十六年、本年四月に親鸞聖人の御遺忌に併せて、父の五十回忌を勤めようと準備している最中、幸せなことに父の説教が録音されたテープが見つかり、多くの方々のご尽力で再び世に出すことが出来ました。不思議なご縁を慶ぶとともに、何か父の強い願いのようなものを感じております。

範浄文雄長女・善法寺坊主 範浄恵子

刊行にあたって
範浄文雄師は大正二年能登半島の真宗大谷派の寺に生まれ、長じて同志野町の善法寺住職を継ぎ、昭和四十年まで節談説教者として活躍し、名人として全国にその名を馳せた。五十四歳の若さで亡くなったが、門下に廣隆兼純師を出すなど現代の説教界に多大な影響を残した。

師の説教は没後二河白道「大原問答」「大講の行」がテープ公開されたのみで、他は既に消失してしまっただと思われていた。

平成二十二年夏、所縁の二寺からは同時に発見された音源は、オーブリーに収録されていたもので、能登半島大地震の被害を奇跡的に免れたものである。半分はずで再生不能で、残っていたものも消滅寸前の状態であった。今回、復活再生できた音源から、録音状態のよいもの、大発表のものを精選した。

各巻の内容

- 第一巻** 収録分巻・約54分
第一席 凡夫そのまま来いよ……
第二席 浄土真宗にも木魚あり……
第三席 たとひ罪業は深重なりとも……
- 第二巻** 収録分巻・約54分
第一席 五劫の思案は法蔵の片思い……
第二席 敬つて一切の往生人等にまうさく……
- 第三巻** 収録分巻・約44分
第一席 願成坊の疑い……
第二席 勝手に喧ちるなら喧としてしまえ……
- 第四巻** 収録分巻・約57分
第一席 月影の至らぬ里はなけれども……
第二席 南無の座 阿彌陀の座……
- 第五巻** 収録分巻・約56分
第一席 韋堤希の目覚め……
第二席 その後の阿闍世……
- 第六巻** 収録分巻・約58分
第一席 合掌の世界は広し喜ばし
第二席 まちかねて……
第三席 改悔批判……

- 解説／直林不退
- 布教で使われる言葉の大切さ／杉本光昭
- 範浄文雄師説教音源発掘の経緯／府越義博